■ 特徴

この時計は、時刻・カレンダー機能に加え、ストップウオッチ機能とアラーム機能をそなえています。液晶パネル外周のドットが、モードごとに特有な動きをします。

●時刻・カレンダー機能

・（年）、月、日、曜日、時、分、秒を表示します。（年は時刻合わせ時のみ表示します。）

・2019 年から 2100 年まで、うるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」です。

●ストップウオッチ機能

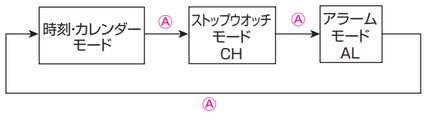
・1/100 秒単位で、最大計測時間 99 時間 59 分 59 秒 99 まで計測できるストップウォッチ機能です。

●アラーム機能

・設定した時刻（時・分）に 1 日 1 回鳴るデイリーアラーム機能です。

■ ボタンの名称と表示の切替

●ボタンⒶを押すごとに、次の順序でモードが切り替わります。



※いずれのモードでも、ボタンⒷを押すとライトが5秒間点灯します。

※ストップウオッチモード以外でもストップウオッチマーク（ ）が点滅している場合は、ストップウオッチが計測中であることを示しています。

※操作確認音がセットされていると、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。アラームモードから時刻・カレンダーモードに切り替えるときだけ音色が異なります。（操作確認音については、「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。）

■ 時刻・カレンダーの合わせかた

（1）ボタンの名称とはたらき

●ボタンⒶを押して時刻・カレンダーモードにしてください。

ボタンⒶ：ストップウオッチモードへの切替、修正箇所の選択
ボタンⒶ（長押し）：時刻・カレンダー合わせ状態の呼び出し
ボタンⒷ：内部照明の点灯
ボタンⒸ：報時・操作確認音のセット／解除、修正箇所の合わせ（進み）
ボタンⒹ：修正箇所の合わせ（戻り）

※外周のドットが、現在の「秒」に合わせて5ドットがひとつずつ順次点灯します。

（2）時刻・カレンダーの合わせかた

①ボタンⒶを長押しすると「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。

②ボタンⒶを 1 回押すごとに合わせたいところ（点滅）を選ぶことができます。
ボタンⒶを押すごとに次の順序で修正箇所が替わります。

※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

③ボタンⒶを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンⒸまたはボタンⒹを押すと「00」に合います。

※秒表示が 30 ～ 59 秒の時、ボタンⒸまたはボタンⒹを押すと 1 分繰り上がって「00」に合います。

※時刻合わせは、電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。

④ボタンⒶを押して合わせたいところを選択したあと、ボタンⒸを 1 回押すごとに点滅している数字が 1 つずつ進みます。（反対にボタンⒹを押すごとに 1 つずつ戻ります。）

※ボタンⒸまたはボタンⒹを押し続けると、数字は早送りします。

※「時」は 12 時間制で合わせます。A（午前）/P（午後）マークに注意して、午前 / 午後を正しく合わせてください。

⑤「時刻･カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンⒶを押して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。押し忘れた場合でも 2 ～ 3 分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的に戻ります。

※カレンダーは 2019 年から 2100 年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、一度年月日をセットすれば、月の大小や、うるう年の修正をする必要はありません。

※時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。いずれかひとつのボタンを押して、時刻・カレンダー表示に戻してください。次にあらためて、（2）の①から合わせなおしてください。

（3）コントラスト調整の合わせかた

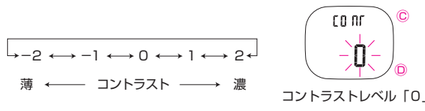
・表示のコントラスト（濃淡）の調整ができます。出荷時およびシステムリセットをした後のコントラストは「0」に設定されています。

●ボタンⒶを押して時刻・カレンダーモードにしてください。

①ボタンⒶを長押しすると「時刻･カレンダー合わせ」状態になります。

②ボタンⒶを押して「コントラスト調整」状態にしてください。

③ボタンⒸまたはボタンⒹを押してコントラストを調整します。

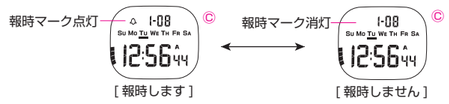


コントラストレベル「0」

④調整が終わりましたら、ボタンⒶを押して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。押し忘れた場合でも、2 ～ 3 分後には時刻･カレンダー表示へ自動的に戻ります。

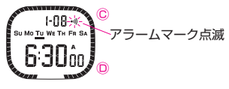
（4）報時／操作確認音のセットと解除とアラーム音の試し聞き

・時刻・カレンダー表示でボタンⒸを押すごとに報時／操作確認音のセットと解除ができます。セットされているときは、報時マーク（ ）が点灯します。



［報時します］　［報時しません］

・また、ボタンⒸとボタンⒹを同時に押し続けると、アラーム音の試し聞きができます。押している間アラームマーク（ ）が点滅し、外周のドットが点灯と消灯を繰り返します。



■ ストップウオッチの使いかた

・1/100 秒単位で、最大 99 時間 59 分 59 秒 99 まで計測することができます。
・100 時間が経過すると、ストップウオッチは自動的にリセットされます。

（1）ボタンの名称とはたらき

●ボタンⒶを押してストップウオッチモードにしてください。

ボタンⒶ：アラームモードへの切替
ボタンⒷ：内部照明の点灯
ボタンⒸ：スタート／ストップ
ボタンⒹ：リセット

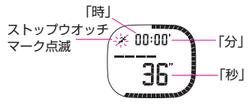
（2）計測中の表示について

・ストップウオッチが計測中は、ストップウオッチマーク（ ）が点滅します。

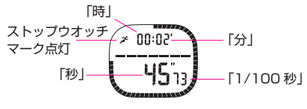
・ストップウオッチ計測中､外周のドットは「秒」の経過に合わせ､最初の 1 分は順次点灯し､次の 1 分は順次消灯し、それを繰り返します。

・ストップウオッチ計測中､上段は経過した「時」と「分」を表示し､下段は「秒」を表示します。

・ストップウオッチを停止すると､上段は経過した「時」と「分」を表示し､下段は「秒」と「1/100 秒」を表示します。



［計測中］



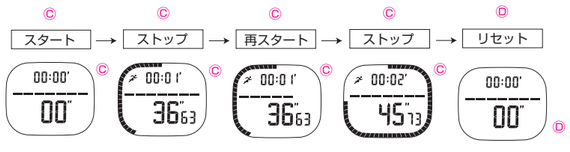
［停止時］

（3）普通の使いかた（積算タイムを測る）

①リセット状態でボタンⒸを押し、ストップウオッチの計測をスタートします。

②計測状態でボタンⒸを押し、ストップウオッチの計測をストップします。

③停止状態でボタンⒹを押し、ストップウオッチをリセットします。



※ボタンⒸを押すごとに、途中のストップ・再スタートを何度でも繰り返すことができます。

■ アラームの使いかた

・1 日に 1 回設定した時刻（時・分）に鳴るデイリーアラームです。
・一度セット（ON）すると、毎日同じ時刻に報知します。

（1）ボタンの名称とはたらき

●ボタンⒶを押してアラームモードにしてください。

ボタンⒶ：時計・カレンダーモードへの切替、修正箇所の切替
ボタンⒶ（長押し）：アラーム修正状態の呼び出し／解除
ボタンⒷ：内部照明の点灯
ボタンⒸ：修正箇所の合わせ（進み）、アラームの ON ／ OFF 切替
ボタンⒹ：修正箇所の合わせ（戻り）

（2）アラームの使いかた

例：アラーム時刻を「午前 6 時 30 分」にセットする場合

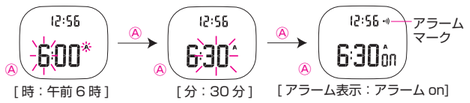
①ボタンⒶを長押しすると「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ」状態になります。

②ボタンⒸを 1 回押すごとに点滅している数字が 1 つずつ進みます。（反対にボタンⒹを押すごとに 1 つずつ戻ります。）

※ボタンⒸまたはボタンⒹを押し続けると、数字は早送りします。

③ボタンⒶを押すと、「分」が点滅し修正状態となります。「時」と同様に、ボタンⒸまたはボタンⒹを押して、「分」を合わせます。

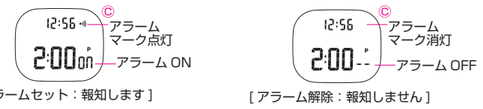
④「アラーム時刻合わせ」が終わりましたらボタンⒶを押して修正状態を解除し「アラーム表示」に戻してください。アラームが自動的にセットされ､「on」とアラームマーク（ ）が表示されます。解除を忘れた場合でも 2 ～ 3 分後には「アラーム表示」へ自動的に戻り､アラームはセット（on）されます。



［時：午前 6 時］　［分：30 分］　［アラーム表示：アラーム on］

（3）アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合

・「アラーム表示」でボタンⒸを押すごとにセット（on）と解除（−−）ができます。



［アラームセット：報知します］　［アラーム解除：報知しません］

（4）鳴っているアラームを止めるには

・アラームをセットした時刻になると、修正状態の場合を除き、時計をどのモードで使用していても、アラームが 20 秒間鳴り続け、外周のドットが点灯と消灯を繰り返します。鳴っているアラームを途中で止めたい場合は、いずれかのボタンを押してください。

※この操作はどのモードでも有効です。

■ 電池についてのお願いとご注意

1. 電池について

（1）電池寿命
この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合は、その後約 4 年間作動します。
※ただし、電池寿命はアラームを 1 日 1 回、ライトを 1 日 1 回、ストップウオッチを 1 日 1 時間以内を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに容量が切れることがあります。

（2）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

（3）電池交換
・電池交換は、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
・電池交換は、保証期間内でも有料となります。
・電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。
特に 10 気圧以上のものは検査が必要です。
防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。
・電池交換時及び修理時のデータ内容保持につきましては保証しかねます。ご了承下さい。

2. 電池寿命切れ予告機能
・この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。
※「時刻・カレンダー表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2～3日中に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

■ アフターサービスについて

● 保証と修理について

・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
・保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 製品仕様

（1）水晶振動数　・・・・32,768Hz
（2）精度　・・・・・・・平均月差 ±20 秒
（気温 5℃～35℃において腕についた場合）
（3）作動温度範囲　・・・−5℃～+50℃
ただし表示機能は
0℃～+40℃
（4）表示体　・・・・・・FE ネマチック液晶
（5）使用電池　・・・・・小型リチウム電池
SB-T11（CR2016）1 個
（6）電池寿命　・・・・・約 4 年
（7）電池寿命切れ予告機能
（8）電子回路　・・・・・発振・分周・駆動回路
（C-MOS-LSI 1 個）

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。何も表示されない。	・電池の容量がなくなった。	・直ちに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。
時計が一時的に進む／遅れる。	・寒いところまたは、暑いところへ放置した。	・精度は、常温にもどれば元にもどります。時刻を合わせ直してください。
	・落としたり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。 ・強い振動が加えられた。	・時刻を合わせ直してください。元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
全ての点灯セグメントが点滅表示になった。	・電池切れが間近であることを知らせています。	・お早めに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。
ガラスのくもりが消えない。	・パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	・お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■ エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について

内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、EL パネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。

※EL パネルの輝度は、点灯時間の累積で約 120 時間時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。
電池交換しても暗すぎる場合は、EL パネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■ 液晶パネルについて

この時計の（液晶パネル）は、7年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなることがあります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■ 補修用性能部品について

・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 電池交換後のお願い（システムリセット）

●電池交換後や、万一異常な表示（読めない表示など）になった場合、以下の操作を行ってください。
時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

［システムリセットのしかた］
ボタンⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ4 つを同時に 2 ～ 3 秒間押し続けてください。表示が一旦消え、ボタンを離すと、時刻・カレンダーモードとなり「1 月 1 日火曜日 AM12 時 00 分 00 秒」が表示されます。

ご使用前に下記の順序で操作してください。
①時刻・カレンダーの合わせ
②アラームの設定

■ 使用上のご注意とお手入れについて

● 製品取扱上のご注意

⚠警告

●次のような場合、ご使用を中止してください。
・時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
・バンドのピンが飛び出してきた場合
※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

●乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。
部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

●時計から電池を取り出さないでください。
電池の交換には、専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。

●この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠注意

●以下の場所での携帯・保管は避けてください。
・揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
・5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
・高湿度なところ
・磁気や静電気の影響があるところ
・ホコリの多いところ
・強い振動のあるところ
※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。

●アレルギーやかぶれを起こした場合
ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

●直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、
日常生活用強化防水の時計でも
防水不良になるおそれがあります。

●水分のついたまま、ボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。

●水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。

●入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

●その他のご注意
・金属バンドの調整は専門知識･技能が必要ですので､お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などをケガする可能性があるほか､部品を紛失する可能性があります。
※ご贈答､ご転居などにより､お買い上げ店での調整が受けられない場合は､弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。
・商品の分解・改造はしないでください。
・乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
・使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

● お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください。
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。

● 防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を裏ぶたでご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATERR ESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 ⚠警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で 10 (20) 気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。

● バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド
・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
・さびが進行すると､ピンの飛び出しや抜けが発生し､時計を脱落させてしまうことがあります｡また､逆に中留が外れなくなることがあります。
・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド
・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活用強化防水 10（20）気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド
・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて
バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズのめやすについて
バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。
時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

● 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

・長くご愛用いただくために、3 年～4 年に 1 度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。
ご使用状況によっては、漏液により表示消えが生じることがあります。
またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。